

カメラと Google フォームを活用したスピーキングの評価 (ONE WORLD English Course 2 Project 1 あなたの夢を語ろう)

①話・発

①統合

②評価

③タブ

④Google
フォーム

【ここがポイント！】

①「タブレットのカメラを活用したスピーキングの評価」

パフォーマンステストの際に、タブレットのカメラで生徒自身にスピーチの様子を撮影させ、それを評価に使用する。生徒は、より良いものを提出するために、カメラで自分のスピーチの様子を何度も撮影し、繰り返し動画を見て、個々で課題を見付け、練習を繰り返す。

②「Google フォームの活用」

動画を提出する際に、Google フォームを使用する。生徒はフォームに動画を添付し、アンケートにも答える。アンケートは授業内で生徒と共有し、振り返りへとつなげる。

【実践の目標】

自分の夢を語るために、自分の考えや経験を整理し、聞き手に分かりやすく、まとまりのある内容でスピーチをすることができる。

【実際の場面】

1. 自分の夢について考える

ALT のモデルスピーチを聞き、聞き手に分かりやすいスピーチをするために必要な表現や技法について考えた。その後、ワークシートやジャムポートを活用し、自分の将来の夢や自分が興味関心のあることについてアイデアを書き出した。生徒たちは思考を整理することができた。

2. スピーチ原稿を推敲する

将来の夢について書き出したアイデアを基に、スピーチ原稿を作成した。その際、辞書だけでなくタブレットでも表現を調べながら、自分が伝えたいことをワークシートに書き出していった。

その後、グループでそれぞれの原稿を読み合い、参考になる表現や間違いなどの気付きを付箋に書き貼り付けた。

グループ協議の後、自分の原稿が聞き手に分かりやすいものになるように、自分のワークシートに貼られた付箋を基に推敲を重ねた。

3. グループで発表する

完成したスピーチ原稿を基に、グループ内で発表をした。その後、発表について相互評価を行った。

4. パフォーマンステストを行う

タブレットのカメラで自分のスピーチの様子を動画で撮影し、Google フォームで提出した。また、本単元の学習に関するアンケートにも答えた。回答については、授業内で共有した。

【成果と課題】

【成果】

- カメラ機能を使って評価を行うことで、評価するための時間短縮につながり、生徒の練習時間を十分に確保することができた。
- 撮影した動画を生徒自身が振り返りに活用することで、生徒自身が自分の変容に気付くことができるようになった。

【課題】

- 生徒自身が活動の目的を理解し、自らの学習を振り返り、自分の変容に気付く、成長につなげていくために、明確なルーブリックを作成することが大切であると感じた。

